



いわて マナビィ マガジン

No.225 (令和3年度第10号) 2021.8.24

(※今回は、記事内容の関係により、少々早めに配信しています。)



岩手緊急事態宣言発令により、 研修事業等の予定を変更しています！



8月12日「新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言」が発令され、県主催イベントの中止や規模の見直し、県施設等の休館・利用制限等が行われている状況です。

当センターでは、コロナ禍でも「学び」の火を消さないよう、ICTを活用しながらできる限り研修会を実施して参ります！

【県立生涯学習推進センターの状況】

◎一般利用（ラウンジの利用・図書資料の閲覧等）は休止しています。

◎既に予約を受け付けている施設利用は、主催者側の判断基準により、中止又は人数制限や感染対策を十分に講じたうえで行っていただきます。

（岩手緊急事態宣言の発令中は、新規予約の受付を休止しています。）

◎子育て電話相談「すこやかダイヤル」・生涯学習電話相談「マナビィコール」等は通常通り行っています。

◎主催の研修会等は、会場に参集しないオンライン形式での実施を検討します。（オンライン形式で実施できないものは、延期又は中止となります。）

※既に申し込み済みの受講者の皆様や申し込みのとりまとめをしていただいた関係機関には、研修会ごとに変更内容を通知いたします。

※当センターのHP「まナビネットいわて」にも、変更状況（オンライン形式・延期等）を掲載しています。

↓↓↓↓↓

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

<下記の研修会等は、期日を延期して実施予定です。>

8月20日（金）⇒延期（期日・会場未定）

「人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（盛岡会場）」

8月25日（水）⇒12月14日（火）へ延期

「子育て支援活動交流研修会」

8月31日（火）～9月1日（水）⇒延期（期日未定）
「放課後児童支援員認定研修（センター会場2班）」

9月7日（火）～8日（水）⇒延期（期日未定）
「放課後児童支援員認定研修（盛岡会場）」

9月17日（金）⇒12月7日（火）へ延期
「地域安全防災研修会」

新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症が県内でも猛威を振るっていますが、様々な情報が飛び交う中で、どの情報を見れば良いか分からないという声も聞こえてきます。厚生労働省のホームページでは、「新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識」の資料が掲載され、現在の基本的な状況がQ & A方式で分かりやすく説明されていますので、「学び」としても参考になるかと思えます。

「新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識」
（厚生労働省ホームページより）

【新型コロナウイルス感染症の患者数・病原性】

1. 日本では、どれくらいの人新型コロナウイルス感染症と診断されていますか。
2. 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化する人や死亡する人はどれくらいですか。
3. 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化しやすいのはどんな人ですか。
4. 海外と比べて、日本で新型コロナウイルス感染症と診断された人の数は多いのですか。

【新型コロナウイルス感染症の感染性】

5. 新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させる可能性がある期間はいつまでですか。
6. 新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、どれくらいの人他の人に感染させていますか。
7. 新型コロナウイルス感染症を拡げないためには、どのような場面に注意する必要がありますか。

【新型コロナウイルス感染症に対する検査・治療】

8. 新型コロナウイルス感染症を診断するための検査にはどのようなものがありますか。
9. 新型コロナウイルス感染症はどのようにして治療するのですか。

10. 接種の始まった新型コロナワクチンはどのようなワクチンですか。今後どのように接種が進みますか。

【新型コロナウイルスの変異株】

11. 新型コロナウイルスの変異について教えてください。

(11. 回答掲載例)

一般的にウイルスは増殖・流行を繰り返す中で少しずつ変異していくものであり、新型コロナウイルスも約2週間で一か所程度の速度で変異していると考えられています。

現在、新たな変異株が世界各地で確認されており、こうした新たな変異株に対して警戒を強めていく必要があります。日本では、B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）への置き換わりが進んでおり、スクリーニング検査での陽性率（機械的な試算）は、全国的には約45%となっています。

厚生労働省では、新型コロナウイルスのゲノムを解析し、変異の状況を監視しています。世界保健機関（WHO）や専門家とも情報交換を行い、こうした変異の分析・評価を行うとともに、国内の監視体制を強化しています。また、変異株事例が確認された場合には、検査や積極的疫学調査を強化して、感染拡大防止に取り組んでいます。

個人の基本的な感染予防対策は、変異株であっても、3密（密集・密接・密閉）や特にリスクの高い5つの場面の回避、マスクの適切な着用、手洗いなどが有効です。国民の皆様には、これまで以上に感染予防対策の徹底へのご協力をお願いいたします。

※B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）は2020年10月にインドで最初に検出された変異株です。

※専門家によると、B.1.617.2系統の変異株（デルタ株）は、B.1.1.7系統の変異株（アルファ株）よりも感染性が高いことが示唆されるため、注視していく必要があります。ワクチンについては、変異株に対しても二回接種後には有効性を示す研究結果も報告されているなどと評価・分析されています（2021年6月20日時点）。

このように、No.1～11それぞれについて回答が記載されていますので下記ホームページに掲載の資料をご覧ください。

厚生労働省ホームページはこちら

↓↓↓↓↓

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

★-----★
各種研修会の開催要項を掲載中です！
★-----★

当センターの研修会の開催要項は、随時掲載中です。

